

# 大谷學報

第 99 卷 第 1 号

2019年11月 8 日発行

---

中川霞城の狂言……………	藤本芳則 (1)
——『少年書太郎冠者』を中心に——	
真宗大谷派における女性教化……………	福島栄寿 (25)
——明治・大正・昭和・平成の教説を辿る——	
二〇一九年度 春季公開講演会講演録	
普賢行とは何か……………	織田頭祐 (53)
——親鸞と『華嚴経』——	
西行と芭蕉に開かれる親鸞……………	山折哲雄 (77)
——日本人の宗教心——	
二〇一八年度	
修士論文・卒業論文・卒業研究題目一覧……………	(95)
彙報……………	(121)
蔵訳『阿闍世王経』第三章後半部分訳注研究	
……………	宮崎展昌 (37)
【英文】世俗と宗教のメデイエーション	
——ベナンのローカルラジオ番組とポスト世俗化論——	
……………	田中正隆 (17)
ステイラマティ『五蘊論註』にみられる信 (Stadhia)	
……………	箕浦暁雄 (1)

---

大 谷 大 学

大 谷 学 会

---

THE  
OTANI GAKUHO  
( THE JOURNAL OF  
BUDDHIST STUDIES AND HUMANITIES )

CONTENTS

**Articles:**

Śraddhā in the *Pañcaskandhakavibhāṣā* Written by Sthiramati  
..... MINOURA Akio ( 1 )

Mediation between the Secular and the Religious:  
A Local Radio Program in Benin and the Post-Secular Argument  
..... TANAKA Masataka ( 17 )

An Annotated Japanese Translation of the Tibetan version of  
the *Ajātaśatrukaukṛtyavinodana*, the latter half of Chapter III  
..... MIYAZAKI Tensho ( 37 )

---

Reports ..... (121)

Titles of Theses Presented for MA and BA Degrees, 2018 Academic Year ( 95 )

---

Résumés of Papers Presented at the Otani Public Lecture, Spring 2019  
Shinran Seen through Saigyō and Bashō : Japanese Religious Mind  
..... YAMAORI Tetsuo ( 77 )

What is Samantabhadra Practice ? : Shinran and the *Huayan Sūtra*  
..... ODA Akihiro ( 53 )

---

**Articles:**

Doctrinal Teachings for Women in the Modern Shinshū Ōtani Denomination:  
An Overview of the Meiji, Taishō, Shōwa, and Heisei Periods  
..... FUKUSHIMA Eiju ( 25 )

A Study on the Kyōgen of Nakagawa Kajō :  
Focusing on *Shōnenkyōgen-nijūgoban* ; *Tarōkaja*  
..... FUJIMOTO Yoshinori ( 1 )

アスクレピオスに鶏を…………… 朴一功

——ソクラテスの最後の言葉について——  
『華嚴経』天上篇の思想的意味について

…………… 織田顕祐

『安楽集』第十二大門における『十往生経』の引  
用の意図について…………… マイケル・コンウェイ

二〇一八年度 春季公開講演会講演録

往生要集の救い…………… ロバート F. ローズ

——地獄・極楽・念仏——

二〇一七年度

修士論文・卒業論文・卒業研究題目一覧

彙報

仏教混交サンスクリット語における語幹名詞  
の語末 *と* について…………… 稲葉維摩

——Larger Sukhavivūha と Saddharmapundarikasūtra  
に基づいて——

音楽科における「主体的・対話的で深い学び」

…………… 市川郁子

ペンバリーからチャットワースへ…………… 村瀬順子

——英国流「人とすみか」——

近世京都における都市開発と新地形成

…………… 平野寿則

——妙法院と七条新地——

「闘諍堅固」とは何か……………

…………… 采翠 晃

——南嶽慧思の思想を参照して——

値遇の探究……………

…………… 東 真行

——親鸞における「かおばせ」「すがた」「かたち」——

彙報

学位論文審査要旨

少女雑誌におけるシェイクスピアと宝塚少女歌

劇…………… 三浦誉史加

——坪内士行を中心に——

知的活動支援ツールとしてのインフォメーション・

ビジネスアライゼーション…………… 酒井恵光

ラオス北部地方都市における食肉流通の展開と

移住者…………… 高井康弘

## 学生会員 投稿規程

1. 本学会学生会員で、『大谷學報』に論文の掲載を希望するものは、指導教員の推薦状を添えて投稿できる（一六〇〇〇字以内とする）。
2. 投稿された論文は、審査を経て採否が決定される。
3. 論文の審査は、編集委員および編集委員が選任委嘱する審査委員（若干名）によって行われる。
4. 審査の結果は左記の通りとし、②③の場合には、投稿者にその理由を通知する。
  - ① 採用
  - ② 条件付き採用（修正がなされた場合採用）
  - ③ 不採用
5. この規程は、『大谷學報』第八十九卷第一号より適用される。

## 投稿に際しての注意

『大谷學報』『大谷大學研究年報』各号（集）の執筆者は毎年、各号（集）発行の前年度の六月頃に開催される大谷学会委員会にて決定します。

投稿をご検討の方は、まず、できるだけ早い時期に大谷学会事務局までご連絡ください。

なお諸般の事情により、ご希望にお応えできないこともありますので、予めご了承ください。

# 大谷学会規程

**(設置)**  
第1条 大谷大学及び大谷大学短期大学部(以下「本学」という。)に大谷学会(以下「本会」という。)を置く。

**(目的)**  
第2条 本会は、本学の学術研究の推進及びその成果の公開を目的とする。

**(事業)**  
第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。  
(1) 「大谷学報」の発行  
(2) 「大谷大学研究年報」の発行  
(3) 研究会及び公開講演会の開催  
(4) その他必要と認める事業

**(構成)**  
第4条 本会は、次の者をもって構成する。  
(1) 教育職員(専任職員及び契約職員)  
(2) 本学の学生  
(3) 本会の趣旨に賛同し、役員会において承認された者

**(役員)**  
第5条 本会に、次の役員を置く。  
(1) 会長  
(2) 副会長  
(3) 委員長  
(4) 監事

**(会長)**  
第6条 会長は、大谷大学長が当たり、本会を代表する。

**(副会長)**  
第6条の2 副会長は、学監・副学長が当たり、会務を統理する。  
2 副会長は、第3条第1号及び第2号の編集兼発行者となる。

**(委員)**  
第7条 委員は10名とし、教授会において互選する。  
2 委員は、企画・編集・出版等の会務に当たる。  
3 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

**(庶務)**  
第7条の2 会務を円滑に遂行するため、庶務を置くことができる。  
2 庶務は、本会委員のうちから、会長が委嘱する。

**(監事)**  
第8条 監事は2名とし、教授会において互選する。任期は2年とする。  
2 監事は、本会の会計を監査する。

**(研究発表等)**  
第9条 会員は、本会の出版物にその研究を發表し、「大谷学報」及び「大谷大学研究年報」の配布を受け、本会主催の会合に出席することができる。

**(会費)**  
第10条 会員の会費は、年額四〇〇〇円とする。ただし、学生会員は二〇〇〇円とする。

**(経費)**  
第11条 本会の経費は、会費をもってこれに当てる。  
2 本会の経費については、助成金を受けることができる。

**(所管)**  
第12条 本会に関する事務の所管は、教育研究支援部教育研究支援課とする。

**(改廃)**  
第13条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、会長が決定する。  
付則  
1 この規程は、一九八一年四月一日から施行する。  
2 一九六二年四月一日施行の「大谷学会会則」はこれを廃止する。

付則 この規程は、一九九三年四月一日から施行する。  
付則 この規程は、一九九五年六月一日から施行する。  
付則 この規程は、二〇〇二年六月一日から施行する。

付則 この規程は、二〇〇六年十一月八日に一部改正し、同日から施行する。ただし、第3条第1号については、第86巻第1号から適用する。  
付則 この規程は、二〇一二年二月一日に一部改正し、二〇一二年四月一日から施行する。

付則 この規程は、二〇一四年四月一日に一部改正し、同日から施行する。

## (大谷学会委員)

- 川北典子 喜多恵美子
- スミザースライアン W. 武田和哉
- 新田智通 野村明宏
- 平尾良治 藤原正寿
- 山本貴子 渡部洋

大谷学報第九十九巻第一号  
令和元(二〇一九)年十一月八日発行

編集兼 大谷学会  
発行者 宮崎健司  
発行所 大谷学会  
〒六〇三-八四四 京都市北区小山上総町  
大谷大学内  
☎ (〇七五) 四一八一五八  
振替 〇一〇四〇七一八三九三番  
印刷者 田中雅博